

新しい風

平成28年4月5日発行
 発行責任者 小宮國暉
 事務所 羽村市羽東1-2-9
 TEL・FAX:042-554-1555

3月定例議会を終えて〔平成28年第1回〕

- ◆ 議会等の活動報告
- ◆ 一般質問 『市政を問う』
- ◆ 本会議審議事項・28年度予算概要
- ◆ 羽村市版創生計画概要
- ◆ 28年度予算賛成討論要旨皆さまの声



議会等の活動報告

活動日	内容
2月10日	会派新しい風政策研究会、庁内関係部長出席（28年度予算他）
2月12日	28年度予算説明・第五次羽村市長期総合計画実施計画（28年～30年度）
2月22日	議会運営委員会（3月議会日程、議案取扱審議）
3月1日～7日	本会議一般質問（小宮初日、高田2日目）、4日補正予算審議
3月10日	経済委員会（陳情・審議議決・不採択）厚生委員会（陳情・審議議決・採択）
3月15・16・17日	平成28年度予算審査特別委員会（一般会計・特別会計他 審議議決）
3月23日	本会議最終日（27年度追加補正予算、28年度予算ほか議案審議可決）
	●議会改革推進委員会 1/15、2/19、3/18 ●広報委員会 1/7、2/19、3/22

議員研修会、1/15（東日本大震災復興状況と今後の課題）講師教授吉川謙造氏（小宮立高同級生）
 2/3（自殺の現状と対策） 2/12 東京都市議会議員研修会（秋山副知事）
 2/2三多摩上下水及び道路建設促進協議会、2/23福生病院組合議会定例会（27年度予算他）
 2/24 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会（2/26同視察、海老名食の創造館）

教育・福祉・環境分野での活動

“新しい風”小宮・高田はそれぞれ多くの行事へ参加し地域活性化に取り組んでいます

1月

- ◆実践倫理朝起き会元朝式 ◆どんど焼き ◆成人式
- ◆ふれあい綱引大会◆薬物乱用防止教室（ライオンズクラブ）
- ◆栄小学校公開◆富士見小作品展◆松林小学校公開（防災訓練）

2月

- ◆羽村市献血キャンペーン（五ノ神会館 協力、羽村ライオンズクラブ、町内会連合会）
- ◆羽老連・福祉大会 ◆羽村市観光協会通常総会 ◆教育研究会10周年記念講演
- ◆薬物乱用防止講習会（東京都）◆震災孤児支援募金活動・小作・羽村駅頭（ライオンズクラブ）
- ◆新井達矢トークショー◆小作台小公開授業、研究協議会◆上野千鶴子講演会◆小作台西福祉委

3月

- 員会ふれあいの会◆シニアクラブおざく台西山茜会新年会 ◆羽村市駅伝大会 ◆ゆとろぎ10周年記念式典◆消費者の日（まちじゅうでエコアクションを！）◆羽村一中卒業式◆羽村東小卒業式◆羽村一中定期演奏会◆多摩川クリーン作戦（明るい社会づくりを進める会）



産業・コミュニティ・防犯・防災分野での活動

1月

- ◆稲荷神社元旦祭◆金刀比羅神社元旦祭◆並木心 市政報告会・懇親会 ◆消防 出初め式
- ◆商工会 賀詞交換会◆商工会青年部 賀詞交換会◆本一東寿会 新年会 ◆交通安全推進委員会 出動式 ◆小作台西町内会夜回り打ち上げ ◆防衛協会 新年会
- ◆横田基地周辺友好クラブ 新年会・羽村横田友好クラブ 10周年記念植樹式
- ◆羽三協 新年会◆節分会◆文化財保護（稲荷神社・消防訓練）◆栄町第一もちつき会

2月

- ◆稲荷神社建国祭・同総会 ◆議員校友会 懇親会◆福島県人会蕎麦打ち大会

3月

- ◆本町西口商店会総会◆本町第一町内会総会 ◆羽村紫芳会設立総会
- ◆花と水のまつりオープニング式典◆羽村市交通安全推進委員任命・退任式



消防出初め式



多摩川クリーン作戦明社会



献血運動(ライオンズクラブ)



羽村横田友好クラブ
10周年記念植樹式 (桜)

～市政を問う～

小宮國暉

1. 羽村市版地方創生策の加速化を図れ

要旨 政府は、昨年12月18日、平成28年度当初予算案が閣議決定し、地方創生新型交付金として、「地方創生推進交付金」を1千億円計上したほか、情報支援、人的支援の施策も盛り込んだ。さらに、昨年12月24日には、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂について閣議決定し、国は地方創生を加速化させようとしている。これと並行して、国の平成27年度補正予算は、本年1月20日に成立し、その中で、新たに「地方創生加速化交付金」として、1千億円が計上された。

これら、国の「地方創生加速化交付金」や「地方創生推進交付金」は、官民協働、地域間連携、政策間連携といった先駆性を重視していく考えが示されている。

一方、羽村市は、国の動きに呼応し、東京都で一番早く、「長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」を策定し、地方創生に期する覚悟を内外に示すとともに、積極的に地方創生策を展開していることは高く評価している。羽村市の計画には、人口減少社会を克服し市民とともに、「選択と集中」の考えのもと、先駆的な取り組みを積極的に展開し、羽村市版の地方創生を推進していくことが記されている。

そこで、平成26年12月議会以来一貫して取りまちに賑わいと活力を創出していくため上げてきたテーマであり、全庁的に取り組んでいる

羽村市版の地方創生策を積極的に支援し、スピードアップを図っていく事が必要かつ重要との観点から、以下、質問する。



質問 平成 26 年度から平成 27 年度にかけて、国の地方創生交付金をどのような事業に活用したのか。

市長 国の平成 26 年度補正予算で成立した「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、「消費喚起・生活支援型」として、**・ウェルカムベビークーポン券発行事業、・消費喚起プレミアム商品券発行事業**を実施いたしました。また、「地方創生先行型」として、**まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定事業、・児童放課後サポート事業、・妊娠・出産・子育て包括支援拠点の設置準備事業、・産業力・創業力強化支援事業、・地域資源を活用した商業・観光振興事業および若者地域活性化事業（婚活応援事業）**を実施いたしました。さらに、「地方創生先行型追加交付分」として、**・武蔵野第二学童クラブ設置事業、はむらの魅力発信・知名度向上事業**に取り組んでいる。

質問 羽村堰周辺の桜並木は都内でも有名な観光名所となっている。平成 20 年 9 月議会で指摘した桜の木の保全と植栽計画について、今般東京都水道局では、「玉川上水路サクラ更新計画」を策定し樹木の更新を図っていく考えが示されている。羽村市にとって重要な観光資源であるこのサクラ更新計画が羽村市版の地方創生策として、どのように関わっていく考えか。

市長 平成 28 年度から 32 年度の 5 か年において、伐採及び植え替え等を実施する計画と聞いております。引き続き東京都水道局との情報交換に努め、積極的に関わっていきたい。



質問 平成 28 年度からの長期総合計画の実施計画において、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機に、地域経済の活性化を図るため、西多摩地域の自治体と連携し、海外選手団の事前キャンプ地、応援団の滞在地、観光地及び訪問地と選ばれるための事業を展開していくことが記されているが、どのような取り組みを進めていこうと考えているか。

市長 オリンピック・パラリンピックにはスポーツ振興をはじめ、多面的な効果が期待されることから、西多摩は一つの認識に立ち、広域的に連携協力して取り組めるよう積極的に提案している。平成 28 年度は、「スポーツの普及啓発事業」として、**市民体育祭へオリンピックやパラリンピアンを招致し、競技への参加や市民の皆様とのふれ合いなどによる機運醸成事業の実施**を計画しています。また、2015 年に日本を訪れた外国人は過去最高の 1 千 9 7 3 万人であったことを踏まえ、これらの国や地域からの観光客を羽村市に誘導するため、事前キャンプ候補地を探す海外の選手団の受入体制を整備する事業として、**羽村市のガイドマップを外国語で作成し、国内外で配布すること、・外国人観光客向け旅行ガイドブックへ羽村市の観光等に関する記事を掲載すること、海外のメディアや記者等を招致して羽村市取材していただき、海外で情報発信を行っていただくこと、商工会や観光協会と連携し、シティプロモーション専用サイトの多言語化を進めること、など**に取り組んでいく。

障害者スポーツの推進、新たな取り組みに向けて

要旨 日本は平成 26 年、障害者の差別禁止や社会参画を促す平成 8 年国連の”障害者権利条約”に世界 141 番目によろやく批准した。平成 23 年に障害者基本法の改正とともに施行されたスポーツ基本法では、障害のある人がスポーツを行う権利を保障している。羽村市においては、啓発事業として、平成 27 年 1 月には、東京オリンピック・パラリンピック 50 周年記念事業として、パラリンピックに 3 回も出場をはたした**佐藤真海氏**によるトークショーを開催している。羽村市教育委員会は、具体的な施策として「**障害者スポーツの推進**」をあげている。また、2020 年に開催される東京パラリンピック競技大会に向けて、市として、**様々な新しい取り組みを計画**。以下同う。

質問 障害者スポーツの現状としては、毎年6月に開催される障害者スポーツレクリエーションのつどいがあり、障害者施設などにおいてもレクリエーション活動などが行われていると聞いている。しかしながら定期的な活動は行われてなく、羽村市スポーツ推進計画が策定された今、市としてどのような形で障害者スポーツを推進していくのか。

教育長 羽村市スポーツ推進計画では、基本目標を市民のスポーツ実施率の向上とし、目標達成のための施策のひとつとして「障害者スポーツの推進」をあげています。

現在、市が行っている障害者スポーツレクリエーションのつどいでは、平成25年度から障害者スポーツを紹介するコーナーを設け、平成28年度はパラリンピックの正式種目の「ボッチャ」を紹介する計画となっています。

障害者スポーツに関するスポーツセンターの利用状況としては、

電動車いすサッカーやフットサルの団体が定期的に活動しています。教育委員会が委嘱しているスポーツ推進員の中には、障がい者のスポーツの普及と発展をめざした公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認の「障がい者スポーツ指導者」の資格を有している方もいます。しかし、現実的には障害のある皆さんが、スポーツに親しむ機会が少ないことが課題である。

そこで、平成28年度は、多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業の助成金を

活用し、障害者団体や社会福祉協議会、障害福祉担当、スポーツ推進委員、NPO法人羽村市体育協会、はむら総合型スポーツクラブ「はむすぽ」とも連携しながら事業を実施する計画で、仮称ではありますが「障害者スポーツのススメ」として、多くのお客さんが参加し楽しんでもらえるよう検討している。



質問 羽村市として、東京パラリンピック開催に向けて、どのような取組みを行っていくのか。

教育長 現時点では、スポーツの普及啓発事業として市民体育祭へのオリンピックやパラリンピックの招へい、事前キャンプ候補地を探す海外の選手団の受入体制を整備する事業などの取組みが計画されていますが、今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、羽村市としての方針や計画を担当する専任のセクションを設け、組織横断的な取組みを平成28年度から行っていきます。

また、大会に向けて盛り上がるスポーツへの意識を大会後も継続し、特に障害者スポーツの推進による障害者のさまざまな活動への参加機会の増加、また、市民のスポーツ実施率向上によって健康増進を図るとともに、スポーツを通じて地域のふれあいが深まり、よりよいまちづくりに繋げていきたいと考えています。

質問 新しい取組みとして行う場合、障害者福祉の関係団体・社会福祉協議会、そよかぜ、はむすぽ、体育協会等の関係団体との連携協力が不可欠であり、競技のノウハウについては障害者スポーツ協会等への研修をすることも必要と思うがいかがか。

教育長 公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会と羽村市の連携については、「障害者スポーツ・レクリエーションのつどい」において、今年度「ゴールボール」の競技紹介でご協力をいただきました。また、西多摩地域広域行政圏体育大会「スポーツフェスタ」では、昨年度と今年度、障害のある人もない人も誰でも気軽に取り組めるニュースポーツなどを紹介しています。ここでも東京都障害者スポーツ協会から指導者の派遣、用具の貸与などの協力等。さらに東京都障害者スポーツ協会と連携し、障害者スポーツを推進を推進

質問 毎年東京都が行っている障害者スポーツ大会（東京羽村ライオンズクラブ参加応援協力）への見学等、各種啓発活動も重要と思うがいかがか。

教育長 この大会への見学は、市関係職員はもとより、スポーツ推進委員、羽村市体育協会、はむら総合型スポーツクラブ「はむすぽ」、障害者団体等にも呼びかけていきます。障害者スポーツ大会は、東京都障害者スポーツ協会が開催し、「身体」「知的」「精神」の三障害を対象とする、都内最大規模の障害者スポーツの祭典として行われ、平成28年度の大会は、5月から来年2月まで開催される。

小学校避難訓練について

質問 松林小学校で、学校公開参観者も含めた避難訓練・集団下校が実施された。大変よい取組みと考え、他の小学校への水平展開や働きかけを行うべきと考える、来年度以降も継続的に実施したらいかがか。

教育長 来年度以降についても、工夫を加えながら継続的に実施する。なお、松林小学校長からは学校における安全指導について、家庭や地域の方々に直接見ていただくことができ大変有意義な訓練であったとの報告を受けており、こうした成果を校長会等で周知することで、各校の取組の工夫につなげていきたい。

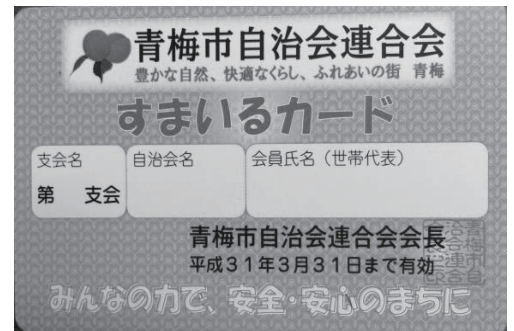
町内会・自治会の加入率向上について

要旨 地域コミュニティの分野で中心的役割を担っている町内会・自治会の加入率は全国的に低下傾向にある。羽村市でも加入率は平成27年40.2%で、さらに低下することが懸念される。町内会への加入を促進し、「地域の絆」を強めていくためには、具体的な対策が必要と考える。

質問 転入届の窓口で、町内会の名称・町内会長の氏名・住所・電話番号を記載した一覧表えるかどうか

市長 住所地がどの町内会に属し、町内会長が誰であることを記載した案内書類は個人情報保護の観点や間違い等を避けるため、配布していない。

質問 町内会の加入世帯がメリットを実感できる施策として、青梅市の「すまいるカード」のような、カードを商店等に提示することで、優待サービスが受けられる制度を検討したらどうか。



市長 町内会・自治会への加入促進については、特典の付与も含め、市としてどのような支援策が可能であるか、町内会連合会と連携しながら、引き続き研究していく。

質問 町内会加入者に「にぎわい商品券の配布」や、町内会に「市所有バスの無償貸し出し」など、老人クラブと同様の特典の付与を検討してはどうか。

市長 税負担や市民サービスの公平性の観点から難しい。町内会・自治会加入者への加入促進については、特典の付与も含め、市としてどのような支援策が可能であるか、町内会連合会と連携しながら引き続き研究していく。

質問 町内会への補助金を支給する上で、均等割や世帯数割の割合を下げ、会員数割の比率を上げてはどうか

市長 市は、町内会・自治会を支援するため、コミュニティ助成金を交付しており、均等割額、世帯割額、活動割額の合計で交付している。この制度は、加入促進活動等を行い、加入世帯が増えれば活動割額が増額となるものであり、その単価は適正であると認識している。

羽村市町内会・自治会別加入状況 (加入率の高い順)

No.	町内会名	H27		H26		前年度比較	
		世帯数	会員数	加入率	加入率	会員数	加入率
1	都堂神明台	231	220	95.2%	100.0%	▲9	▲5
2	旭ヶ丘	98	92	93.9%	93.6%	4	0
3	神明台住宅	117	109	93.2%	100.0%	▲1	▲7
4	清流	173	139	80.3%	80.3%	▲4	0
5	奈賀一	192	153	79.7%	77.7%	0	2
6	田ノ上第一	297	218	73.4%	73.2%	0	0
7	田ノ上第二	291	181	62.2%	60.3%	2	2
8	東第一	229	139	60.7%	61.8%	0	▲1
9	上水通り	399	241	60.4%	60.6%	1	0
10	宮地	751	449	59.8%	64.0%	▲18	▲4
11	奈賀二	207	123	59.4%	61.4%	▲1	▲2
12	東第二	284	160	56.3%	59.3%	0	▲3
13	田ノ上第三	315	177	56.2%	58.0%	▲5	▲2
14	双葉町松原	378	209	55.3%	58.2%	▲5	▲3
15	本町第三	257	140	54.5%	53.4%	5	1
16	間坂第二	588	306	52.0%	57.9%	▲36	▲6
17	川崎東	446	224	50.2%	52.2%	1	▲2
18	双葉富士見	811	405	49.9%	53.2%	▲15	▲3
19	本町第二	221	109	49.3%	51.4%	▲3	▲2
20	川崎西	433	212	49.0%	49.8%	▲6	▲1
21	小作本町	692	339	49.0%	52.1%	▲11	▲3
22	間坂第一	363	177	48.8%	50.4%	▲3	▲2
23	本町第一	493	237	48.1%	50.5%	1	▲2
24	神明台上	1,307	592	45.3%	48.3%	▲17	▲3
25	美原	894	380	42.5%	45.4%	▲7	▲3
26	緑ヶ丘三丁目	343	144	42.0%	45.6%	▲6	▲4
27	富士見平第一	740	307	41.5%	43.8%	▲3	▲2
28	緑ヶ丘第二	721	296	41.1%	42.7%	▲4	▲2
29	栄町第一	1,080	402	37.2%	39.7%	▲12	▲3
30	緑ヶ丘第一	643	219	34.1%	36.2%	▲7	▲2
31	東台	559	190	34.0%	36.4%	▲9	▲2
32	小作台東	1,196	359	30.0%	30.4%	19	0
33	神明台	2,178	650	29.8%	33.4%	▲65	▲4
34	小作台西	1,602	446	27.8%	29.5%	▲14	▲2
35	五ノ神中	899	244	27.1%	28.7%	▲5	▲2
36	五ノ神東	784	207	26.4%	28.8%	▲9	▲2
37	緑ヶ丘西	1,209	306	25.3%	26.7%	▲9	▲1
38	栄町第二	1,463	336	23.0%	22.3%	▲1	1
39	UR羽村団地	841	103	12.2%	13.7%	▲5	▲2
	計	24,725	9,940	40.2%	42.3%	▲257	▲2

本会議審議：〔3月1日～3月23日〕

区分	委員会	番号	案 件 名	採択・賛否等		
				新しい風	全体	
(市長 提出 議案)	予算	1号 ～7号	平成28年度羽村市一般会計予算、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険事業会計、西口土地区画整理事業会計、下水道事業会計、水道事業会計	賛成	可決	
		8号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	賛成	可決	
		9号	羽村市組織条例及び羽村市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正条例	賛成	可決	
		10号	羽村市職員の旅費に関する条例及び羽村市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		11号	羽村市非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		12号	羽村市実費弁償条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		13号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		14号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		15号	羽村市長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		16号	羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		17号	羽村市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		18号	羽村市学童クラブ条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		19号	羽村市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		20号	羽村市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		21号	羽村市防災会議条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		22号	羽村市行政不服審査条例	賛成	可決	
		23号	羽村市保育園条例を廃止する条例	賛成	可決	
		補正 予算	24号 ～30号	平成27年度羽村市一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険事業会計、西口土地区画整理事業会計、下水道事業会計水道事業会計	賛成	可決
			31号	市道路線の認定について	賛成	可決
			32号	東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	賛成	可決
		33号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	賛成	可決	
		34号	平成27年度一般会計補正予算（第7号地方創生事業加速化関連追加）	賛成	可決	
	(陳情)	厚生	陳情 1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	採択	採択
経済		陳情 2号	羽村駅西口地区整備用地取得に伴う定着物（建築物等）の解体撤去に関する建築物等解体撤去費用負担に関する経緯を明確にし、決算委員会における偽証答弁に対し相当の処分を求める陳情書	不採択	不採択	
(議員 提出)	議員 提出	1号	羽村市議会委員会条例の一部を改正する条例	賛成	可決	
		2号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの危険性の周知と予防及び予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書	賛成	可決	

羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画方針

家族の笑顔が生まれるまち はむら

～暮らしと遊びがちょうどいい はむらスタイル～

- 1 若者が流出している「人の流れ」を変え、人口流出を抑制する
- 2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、出生者数の増加につなげる
- 3 中心市街地の活性化のため、「選択と集中」の考えを徹底し、投資と施策を集中することで地域に活力を生み出す
- 4 羽村市の魅力を効果的に発信することで認知度を向上させ、来訪者の増加につなげる

平成 28 年度一般会計予算は、子育て支援策の充実を図るとともに、産業振興や安全・安心なまちづくり、公共施設の老朽化対策などを着実に進めること、また、羽村駅西口土地区画整理事業をはじめとした都市基盤整備を推進していくことなどにより、**過去最大の予算規模となる 219 億 2,000 万円**（前年度比 3,000 万円（0.1%）増）となります。

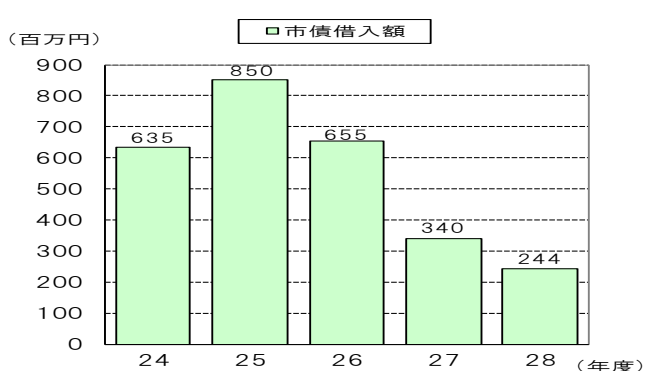
歳入の根幹となる市税は、前年度と比較して 2 億 3,360 万円（2.2%）の増を見込んでおり、普通交付税については、引き続き不交付になるものと見込んでいます。

議案第 1 号～7 号

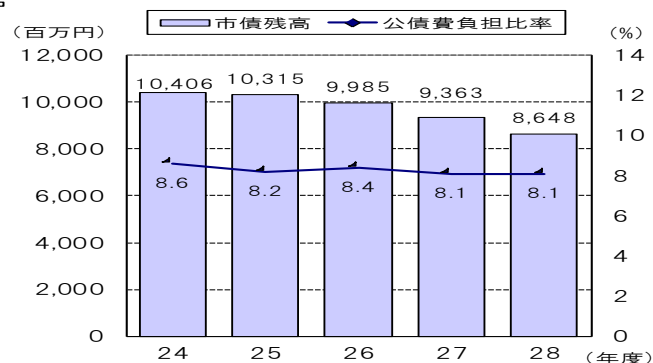
金額単位 百万円

区 分	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率(%)	
一般会計	21,920	21,890	30	4.8	
特別会計	国民健康保険事業	7,267	7,315	▲48	13.9
	後期高齢者事業	1,020	973	47	4.3
	介護保険事業	3,233	2,960	274	5.2
	西口土地区画整理事業	1,402	337	1,064	5.6
	下水道事業	1,244	1,277	▲33	2.2
特別会計計	14,165	12,862	1,303	9.6	
合計	36,085	34,752	1,333	6.5	
水道事業（公営企業）会計	1,482	1,557.2	▲74.844	2.5	
全会計 単純合計	37,568	36,309	1,268	6.4	

市債借入額



市債残高 —◆— 公債費負担比率



羽村市は、国の動きに呼応し、東京都で一番早く、「長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」を策定し、**地方創生に期する覚悟を内外に示す**とともに、積極的に地方創生策を展開するとしております。その中で、人口減少社会を克服し、市民とともに、「選択と集中」の考えのもと、**先駆的な取り組みを積極的に展開、羽村市版の地方創生を推進していく**との方針・方策がうち出されました。

平成28年度は、【第五次羽村市長期総合計画】前期5か年の最終年度であり、後期基本計画へ繋げていく節目の年として、市の将来像実現に向けた重要な年であります。それ故、重点的に配分され新規に工夫された事業に果敢に挑戦している事が伺えます。**活性化に向かった新規事業、市独自の施策展開、待ちの施策から積極的に攻めの施策転換として評価**出来ます。

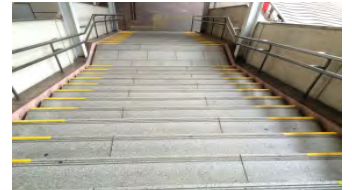
皆様の声

～要望事項が実現しました～

高田和登扱い (2件)



小作台5丁目5・8付近
消火栓の表示板がきれいになりました



視力の弱い方のために、小作駅西口階段の両脇に黄色のテープが貼られました。

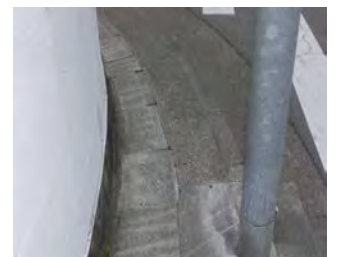
小宮國暉扱い (5件)



コミセン3F ホールへの階段に手すりがつきました。



あさひ公園駐車場の鉄骨が塗装されました。



羽村駅前信号附近、排水溝部分を平滑になりました。



川崎会館前の道路看板が新しくなりました。



川崎公園 (2丁目6-6附近) の表示版が新しくなりました。



“新しい風を明日のはむらに” ご意見ご要望お待ちしております

小宮國暉 事務所羽東 1-2-9

電話・FAX : 042-554-1555

携帯電話 : 070-5594-7198

E-mail : k.komiya@t-net.ne.jp

高田和登 事務所小作台 3-15-3

電話・FAX : 042-555-4700

携帯電話 : 080-6860-1211

E-mail : takadakazuto@gmail.com